

砂場遊びでのいい発見！！（園長つぶやき）



午前には戸外遊びをしているたいよう組。砂場に水を運び、何やら遊んでいる様子だったので、しばらく一緒に話をしながら見ていました。水道からナベ？に水を入れて、慎重に運びながら、丁寧に砂場のビニール袋が敷いてある穴に水を入れていきます。子ども達の中では、この水は“足湯”だそうです。日差しは温かく、いいお天気でしたが、私からすると“足水”では・・・と考えている私をよそに、子ども達はその“足湯”に浸かり「あったかいね～」と友達同士で顔を合わせて嬉しそうです。

“砂場に水”は、子ども達の遊びの中ではいわゆる切っても切れない必需品ですが、子ども達それぞれで遊び方も考えも常に変化し、その時々で、全く違う形を見ることが出来ます。砂と水は、姿や形が常に変化し、子ども達の想像力（発想する）や創造力（作り出す）が駆り立てられ、集中力や忍耐力も身につきます。今日の遊びでも、子ども達のそんな力が育つのだろうなあ、と感じることが出来た場面でした。

ちなみに、ビニール袋の上になぜ水を溜めるのか？子ども達に聞いてみると「砂の上だとすぐに水がなくなるけど、ビニールの上だとなくならずにずっとあるから」だそうです。学んでます！いい発見！（R2. 4. 14）